

# 全般季節予報支援資料 1か月予報

2025年4月10日

予報期間：4月12日～5月11日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## 特に注意を要する事項

北日本では、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

## 出現の可能性が最も大きい天候

北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

# 全般1か月予報

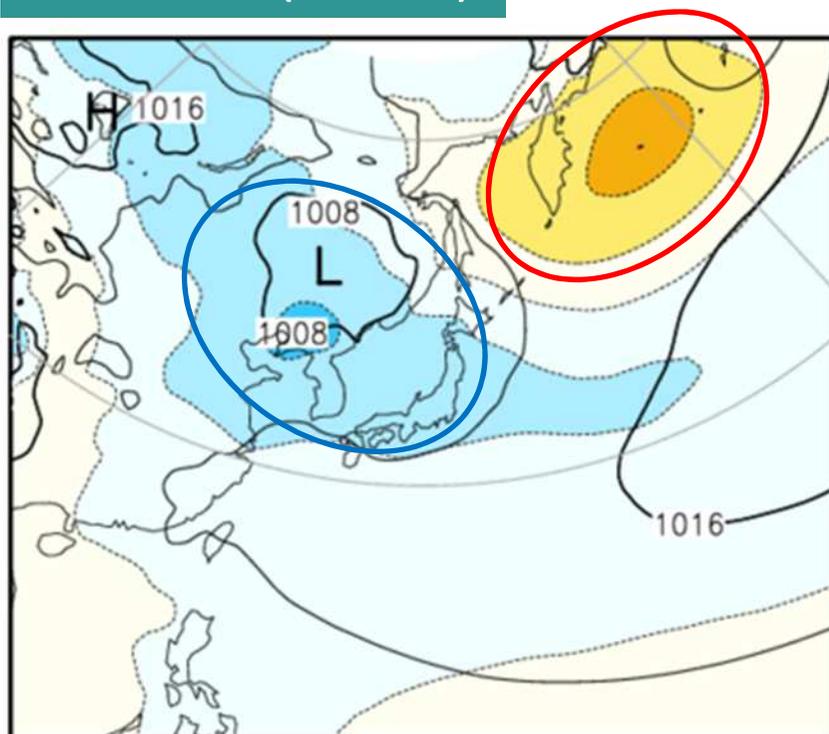
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低並高	少並多	少並多	少並多
北日本	日本海側	10:20:70	10:40:50	60:30:10	
	太平洋側		10:40:50	60:30:10	
東日本	日本海側	20:30:50	30:40:30	40:40:20	
	太平洋側		40:30:30	30:40:30	
西日本	日本海側	20:40:40	40:30:30	30:30:40	
	太平洋側		40:30:30	30:30:40	
沖縄・奄美		30:40:30	30:30:40	40:40:20	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3~4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	10:20:70	10:30:60	20:30:50
東日本	20:30:50	10:30:60	20:40:40
西日本	20:50:30	20:30:50	30:30:40
沖縄・奄美	40:40:20	20:30:50	30:40:30

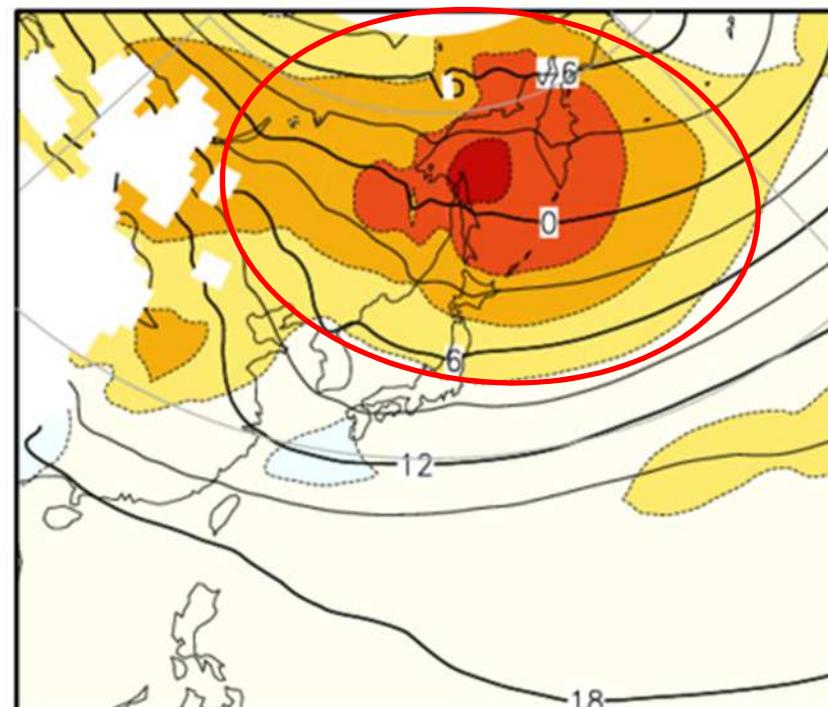
## 全般予報のポイント

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は、北・東日本で高く、西日本で平年並か高いでしょう。特に、期間のはじめは北日本でかなり高くなる見込みです。
- ・低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は、北日本で多いでしょう。また、日照時間は、北日本で少なく、東日本日本海側で平年並か少ないでしょう。
- ・前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の日照時間は、沖縄・奄美で平年並か少ないでしょう。

## 海面気圧(1か月)

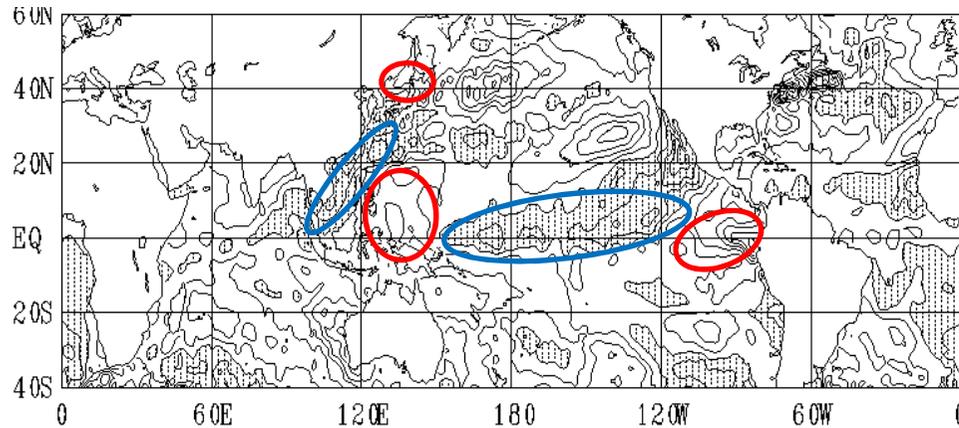


## 上空約1500mの気温(1か月)



1か月平均の上空約1500mの気温(右図)は、オホーツク海付近を中心に高く、北・東日本を中心に暖かい空気に覆われやすいでしょう。  
海面気圧(左図)は、カムチャツカの東付近で平年より高く、中国東北区付近を中心に平年より低いため、北日本と東日本日本海側では低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい時期があるでしょう。沖縄・奄美では前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるでしょう。

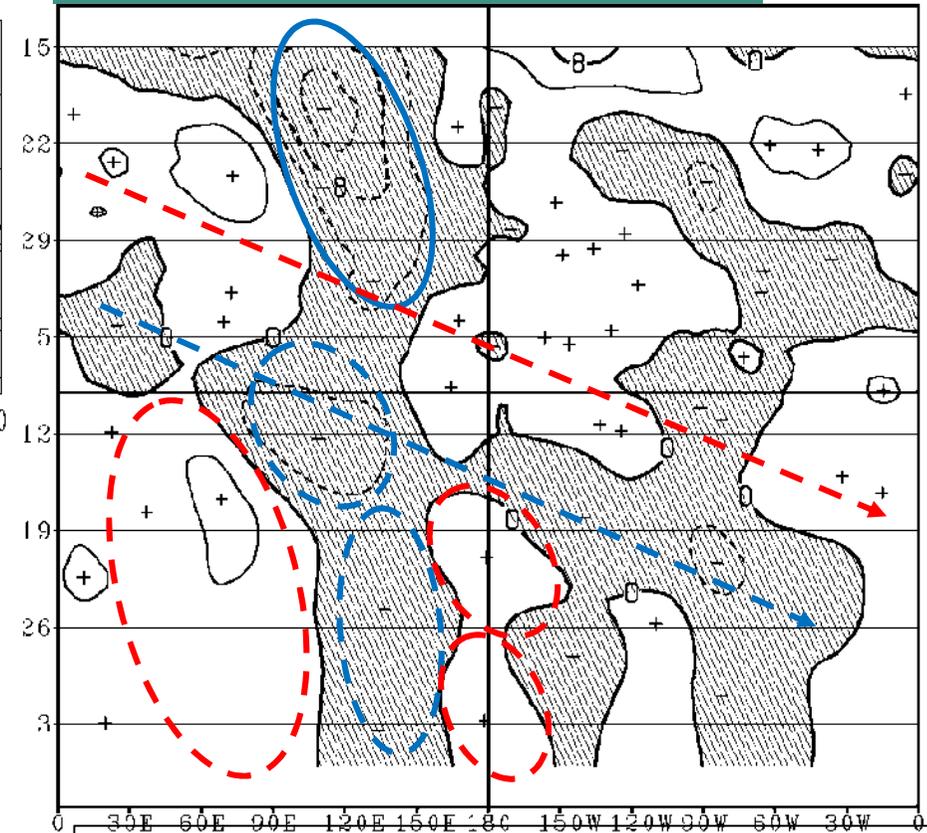
## SST偏差



熱帯域では、ニューギニア島周辺と太平洋東部で正偏差、太平洋中部を中心に負偏差。

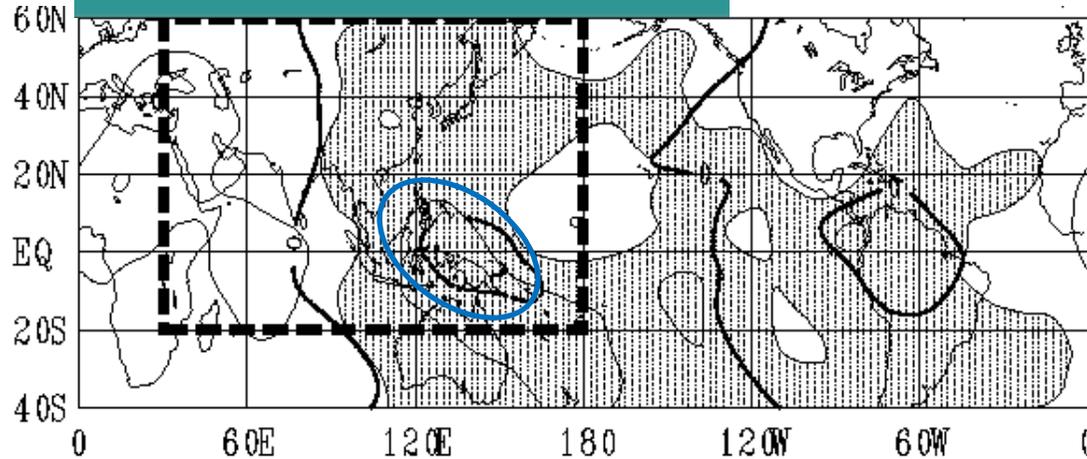
日本付近では、日本の南から南シナ海にかけて負偏差、日本海北部から日本の東にかけて正偏差。

## 200hPa速度ポテンシャル偏差



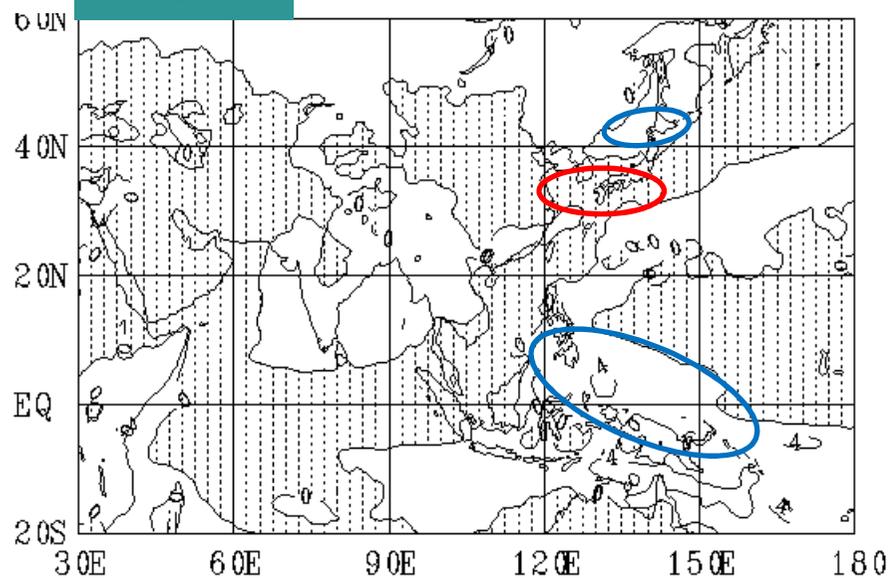
全般にシグナルが小さい。インドネシア付近では、対流活発だが偏差は小さい。MJOの東進が予測されるが明瞭ではない。インド洋では対流不活発となる。

## 200hPa速度ポテンシャル



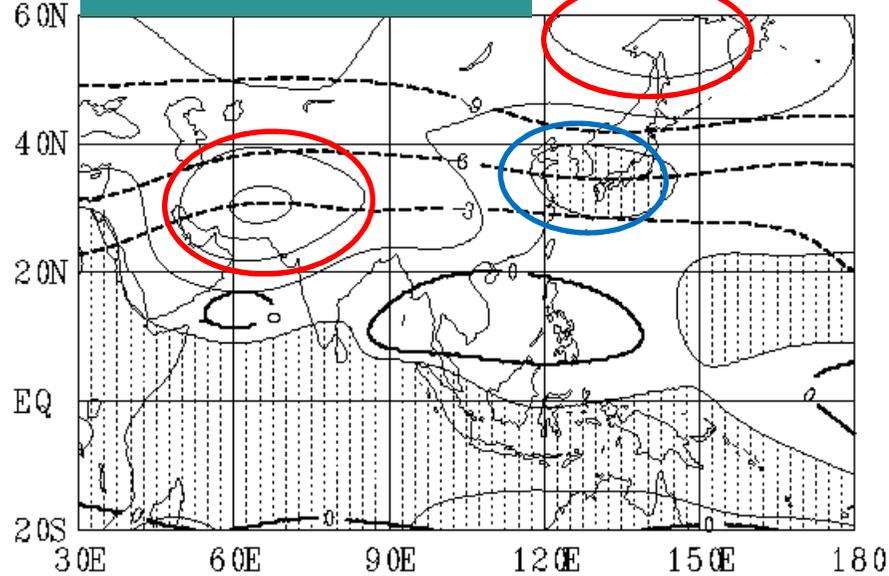
インドネシア付近で上層発散偏差だが、全体的に偏差は小さい。

## 降水量



インドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近は、西日本を中心に少雨偏差、北日本を中心に多雨偏差。

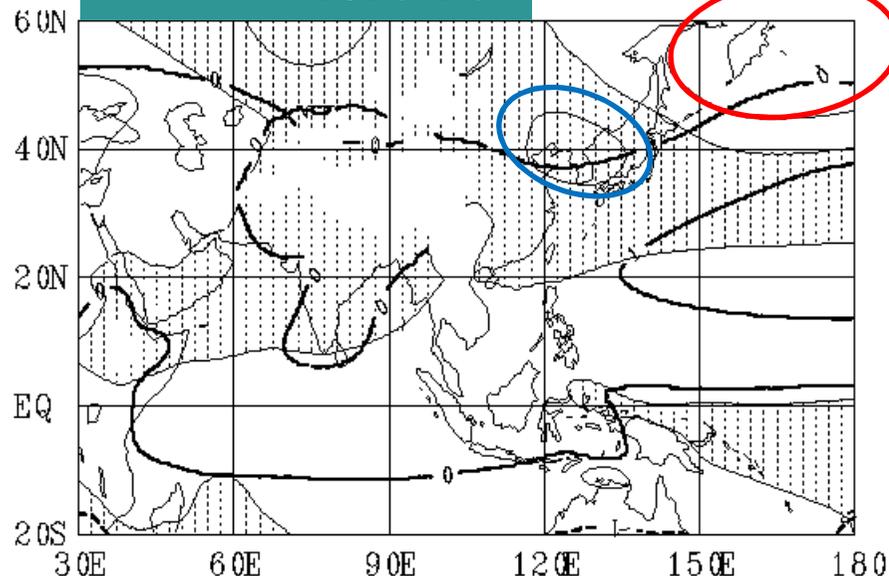
## 200hPa流線関数



亜熱帯ジェット気流沿いの波東伝播が熱帯の対流活動の影響も加わり明瞭で、黄海から西日本付近で低気圧性循環偏差、オホーツク海付近で高気圧性循環偏差。

期間の前半を中心に亜熱帯ジェット気流は日本付近で平年に比べ南を流れやすい。

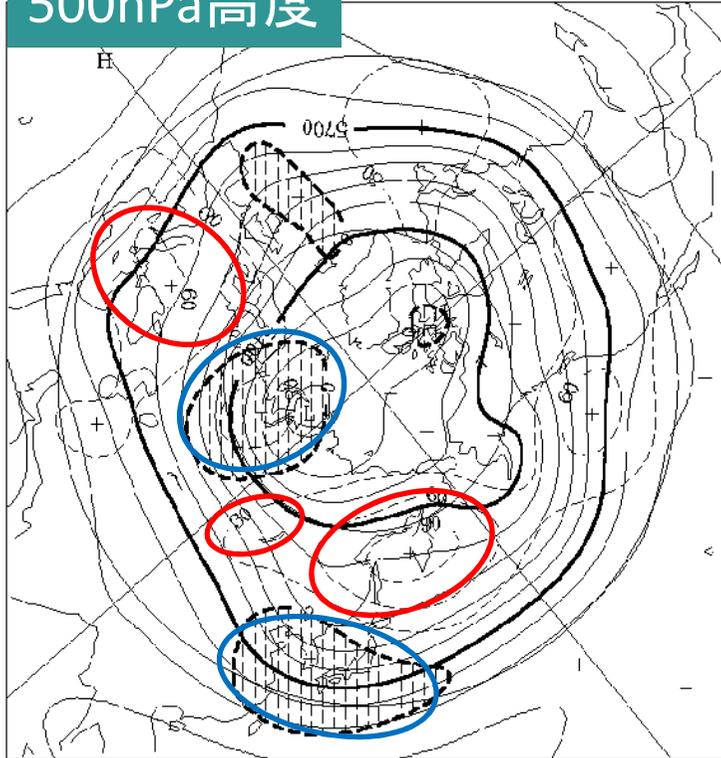
## 850hPa流線関数



朝鮮半島付近を中心に低気圧性循環偏差、カムチャツカの東に高気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

北・東日本を中心に、暖かく湿った空気が流れ込みやすい。

## 500hPa高度

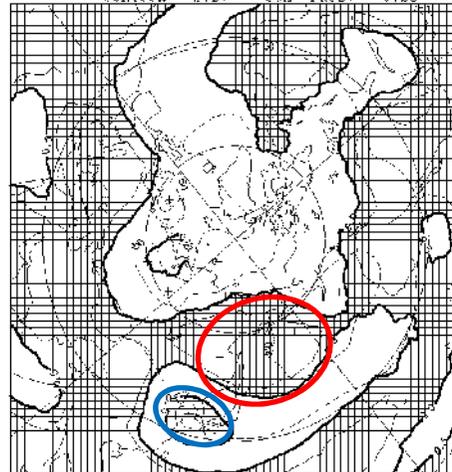
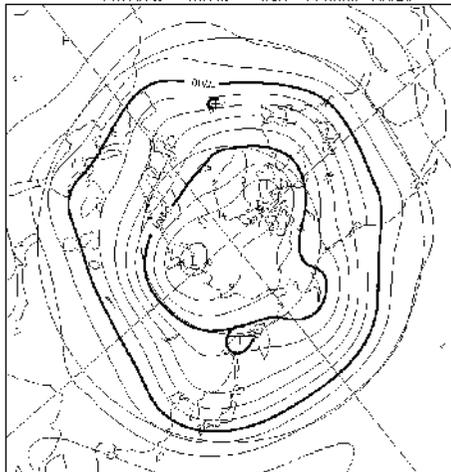


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROF. OF H. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 600m SPREAD: 0.25

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 0.25

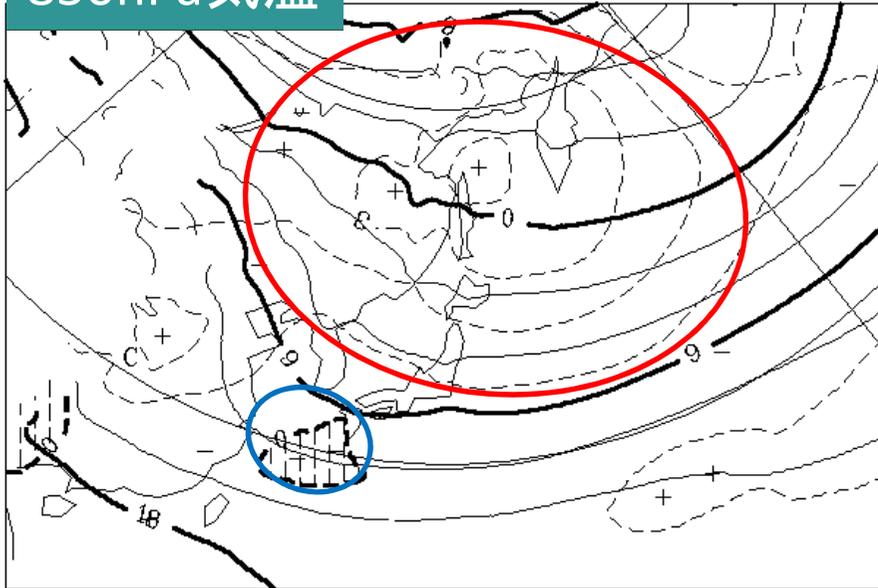


寒帯前線ジェット気流沿いの波列状の偏差が明瞭で、オホーツク海付近で正偏差の一方、黄海から日本の南にかけて負偏差。極渦は、オホーツク海付近の正偏差とともにほとんど停滞。

北日本の一部が正の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。

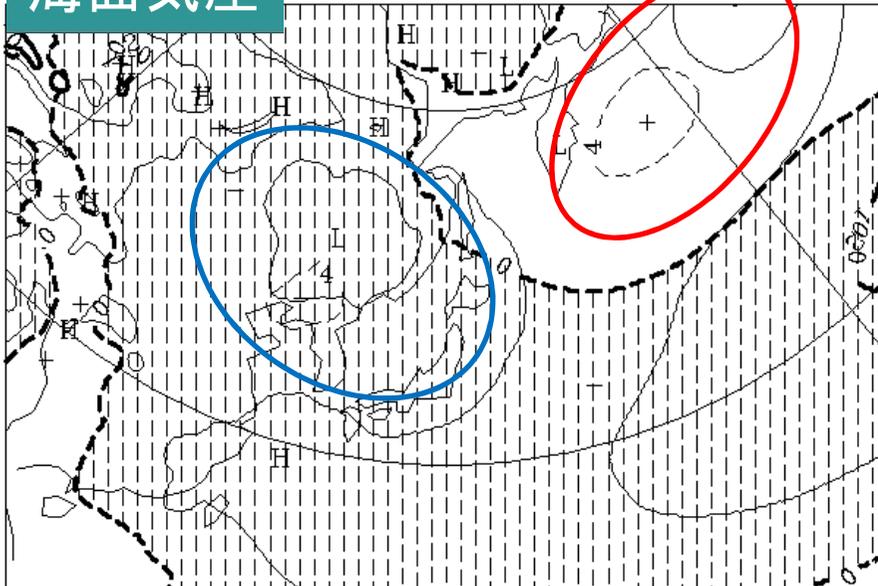
西日本付近が負の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。

## 850hPa気温



オホーツク海付近を中心に正偏差で、北・東日本を中心に暖かい空気に覆われやすい。一方、東シナ海付近には弱い負偏差域がある。このことから、日本付近は南北の温度差が小さい。

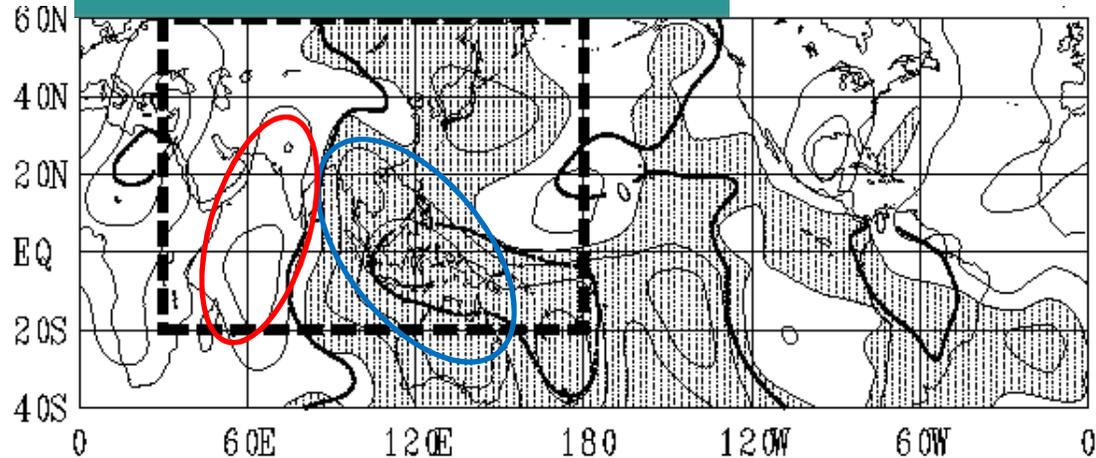
## 海面気圧



上層の循環パターンに対応して、カムチャツカの東付近では正偏差の一方、中国東北区付近では低気圧を予測。北日本では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期がある。一方、亜熱帯ジェット気流が期間のはじめを中心に平年より南偏し、南北の温度差が小さいため、低気圧が発達しにくい。このため、西日本を中心に、低気圧や前線の影響をやや受けにくい時期がある。

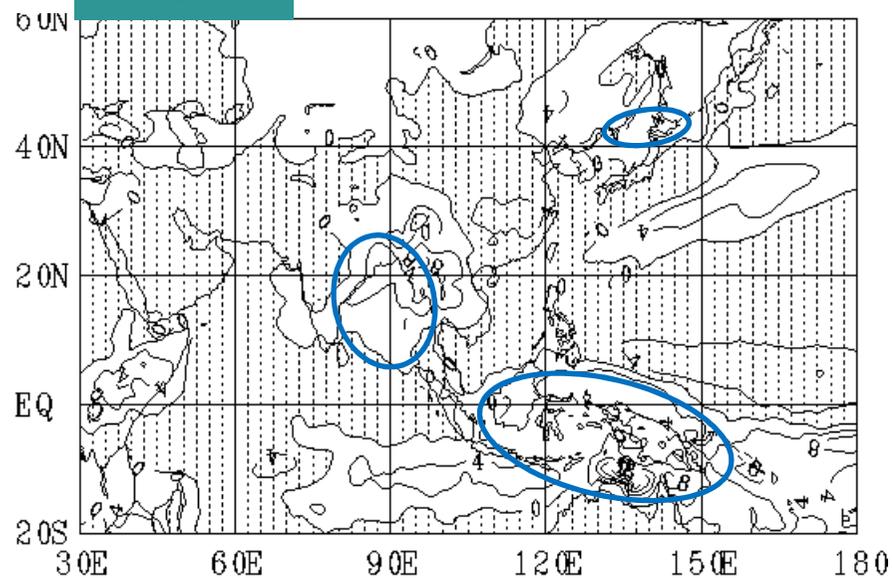
沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすい時期がある。

## 200hPa速度ポテンシャル



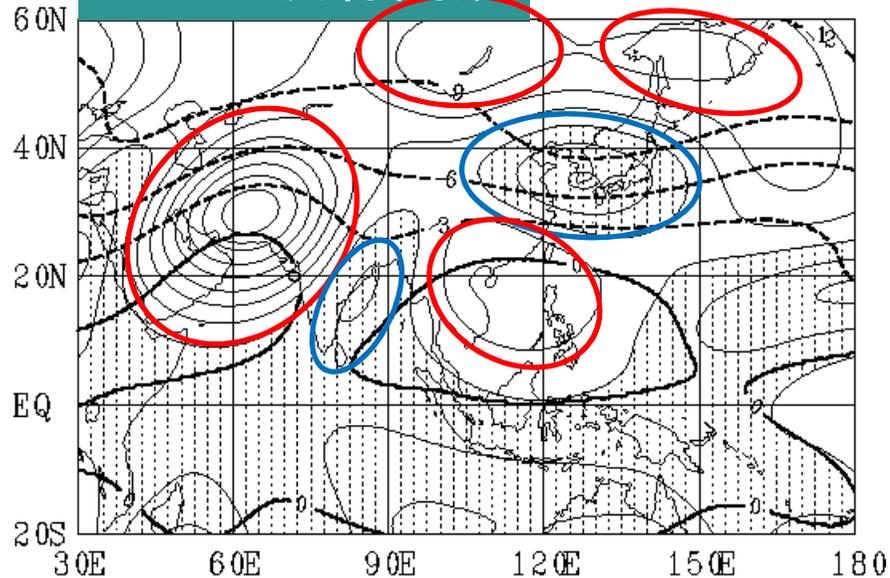
ベンガル湾付近からインドネシア付近で上層発散偏差。  
インド洋西部で上層収束偏差。

## 降水量



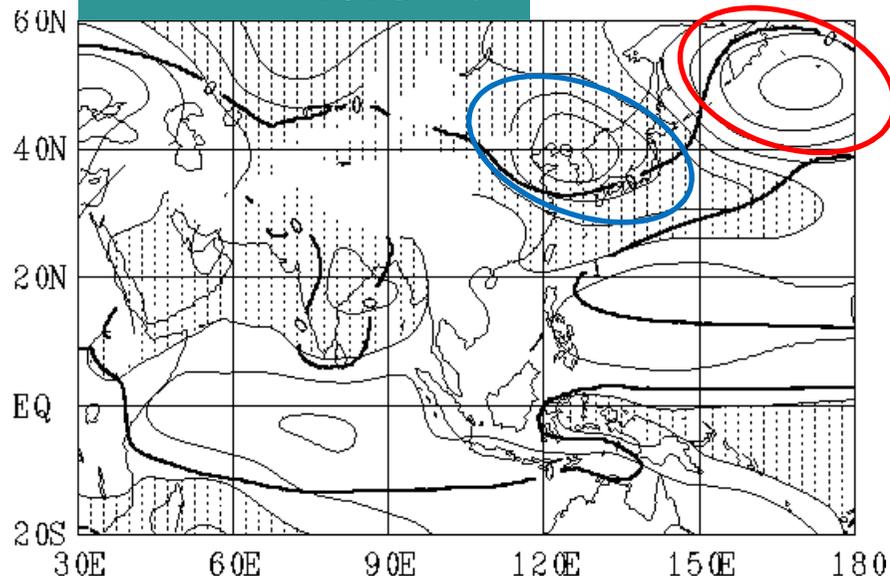
ベンガル湾付近とインドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近は、北日本を中心に多雨偏差。

## 200hPa流線関数



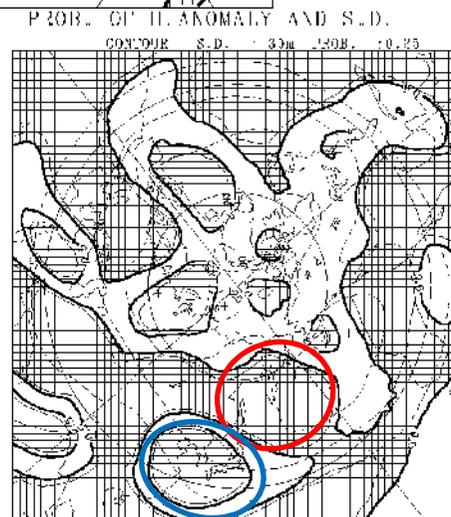
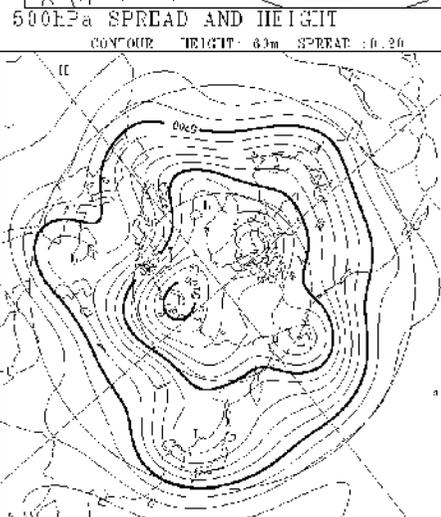
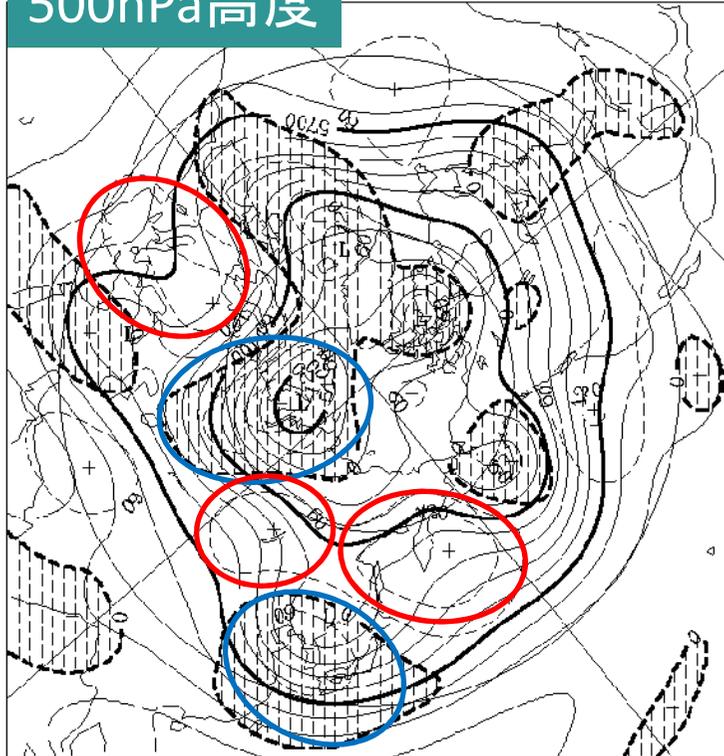
亜熱帯ジェット気流沿いの波東伝播と寒帯前線ジェット気流沿いの波東伝播が合わさる影響で、オホーツク海付近からカムチャツカの東にかけて高気圧性循環偏差、東シナ海から西日本付近を中心に低気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



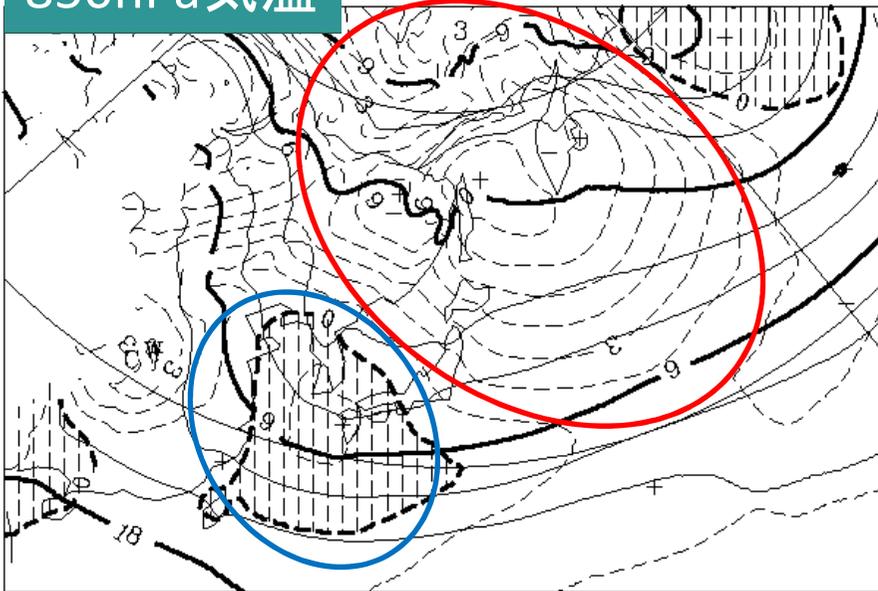
カムチャツカの東付近では高気圧性循環偏差、朝鮮半島付近を中心に低気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。北日本では、湿った空気の影  
響を受けやすい。

## 500hPa高度



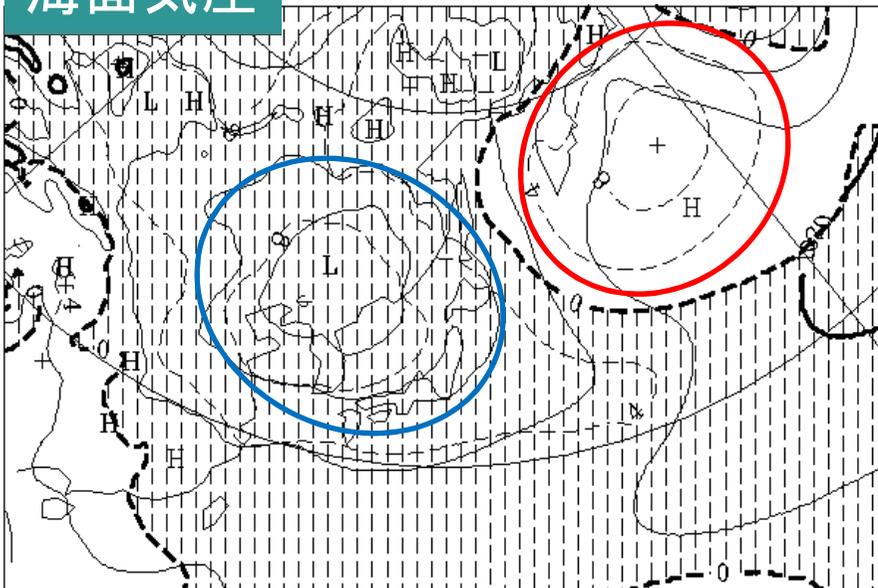
北大西洋のブロッキング高気圧の弱まりに伴う寒帯前線ジェット気流沿いの波束伝播が明瞭で、亜熱帯ジェット気流沿いの波束伝播の影響も重なり、東シナ海から日本付近で強い負偏差。一方、カムチャツカ半島付近で強い正偏差。極渦は、カムチャツカ半島付近の正偏差とともにほとんど停滞。日本付近は北海道の一部が正の高偏差確率50%以上の領域に覆われる一方で、本州から南では負の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。

## 850hPa気温



オホーツク海を中心に正偏差が強く、北・東日本を中心に暖かい空気に覆われやすい。西日本から沖縄・奄美付近では負偏差。

## 海面気圧



上層の循環パターンに対応して、カムチャツカの東付近では正偏差の一方、中国東北区付近では低気圧を予測。北日本を中心に低気圧や湿った空気の影響を受けやすい。高気圧の縁にあたる沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響をやや受けやすい。

## 想定される天候

北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。  
東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。  
沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

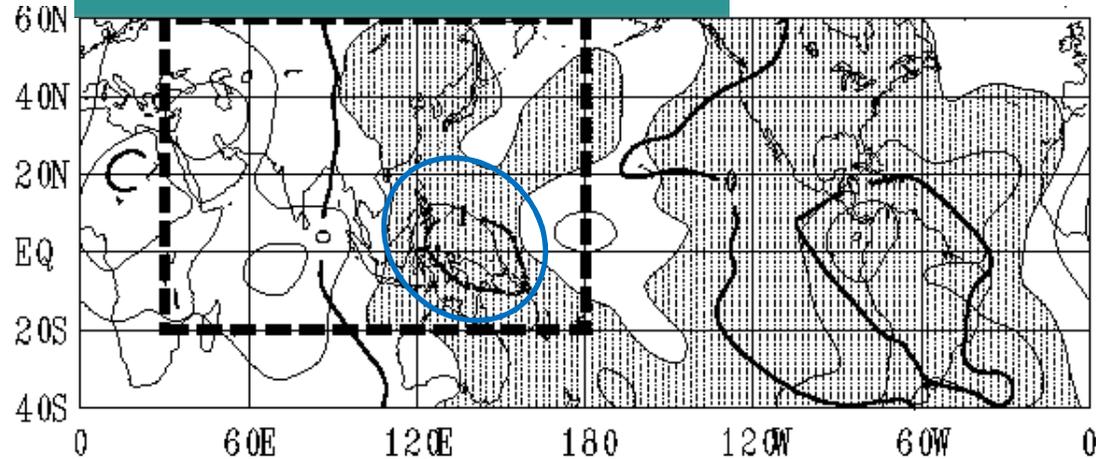
### <気温>

- ・北・東日本では、暖かい空気に覆われやすい。特に、北日本では、かなり高くなる見込み。
- ・西日本では平年並。
- ・沖縄・奄美では、大陸からの寒気に覆われやすい。

### <天候>

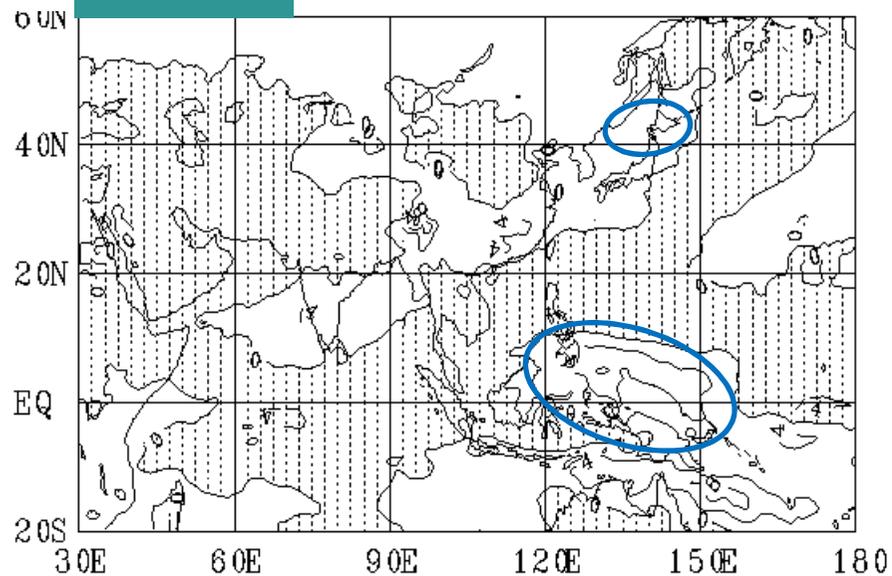
- ・沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響をやや受けやすい。

## 200hPa速度ポテンシャル



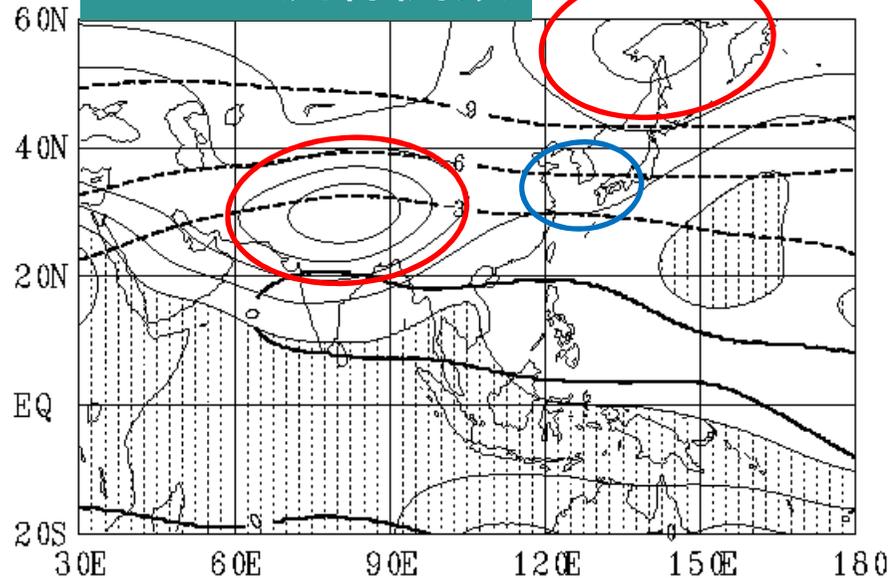
インドネシア付近で上層発散偏差。

## 降水量



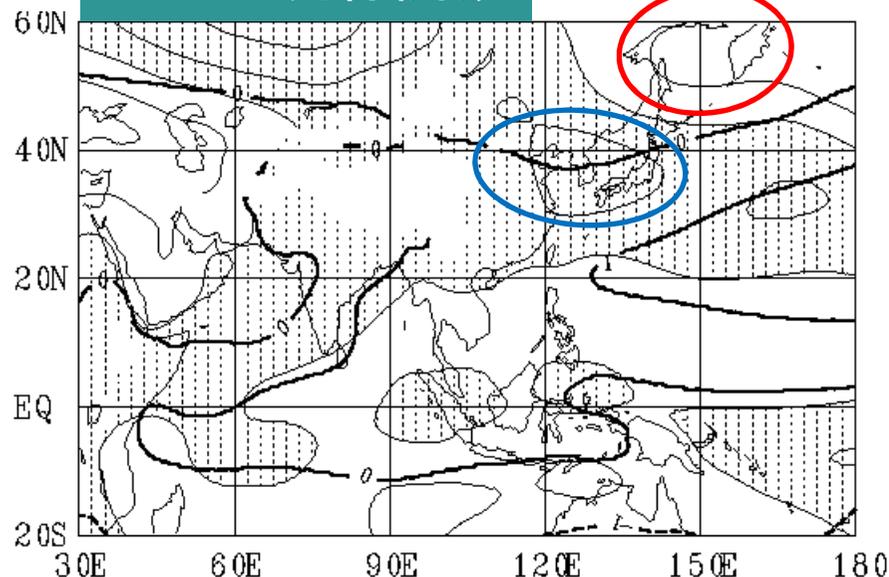
インドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近は、北日本付近で多雨偏差。

## 200hPa流線関数



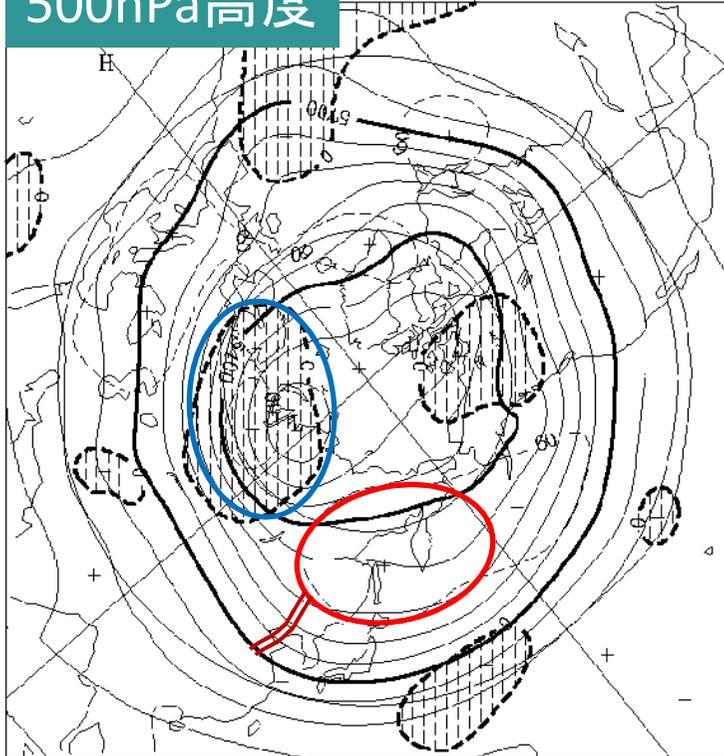
オホーツク海付近を中心に高気圧性循環偏差。  
東シナ海から西日本付近で相対的な低気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



オホーツク海を中心に高気圧性循環偏差、朝鮮半島付近を中心に低気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。  
北日本では、暖かく湿った空気がやや流れ込みやすい。

## 500hPa高度

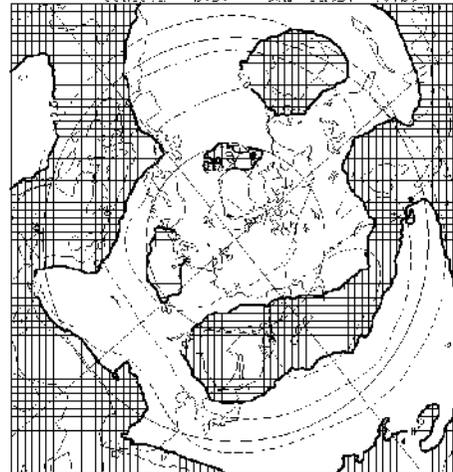
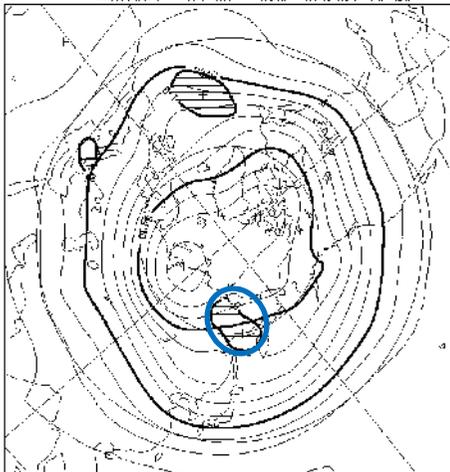


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF FLAKOM.Y AND S.D.

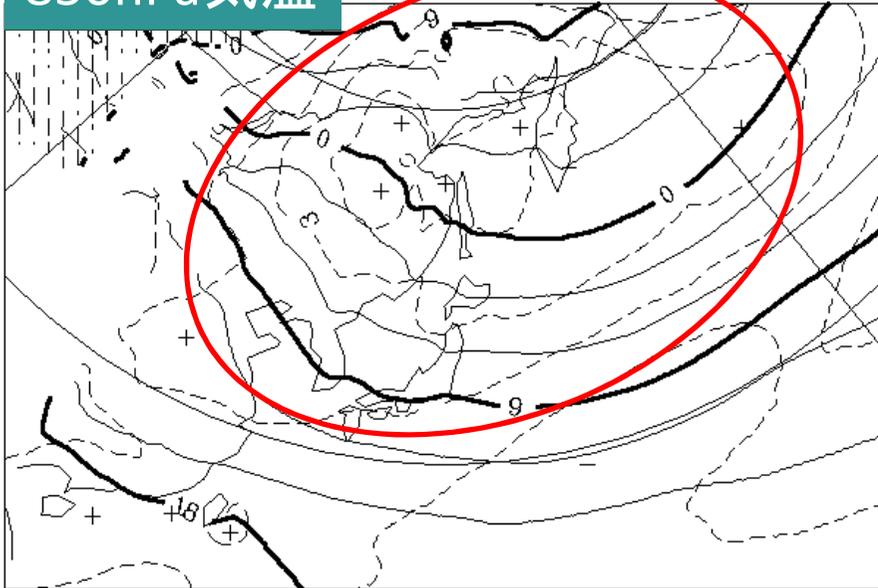
CONTOUR HEIGHT 80m SPREAD 0.20

CONTOUR S.D. 30m 2203. 0.25



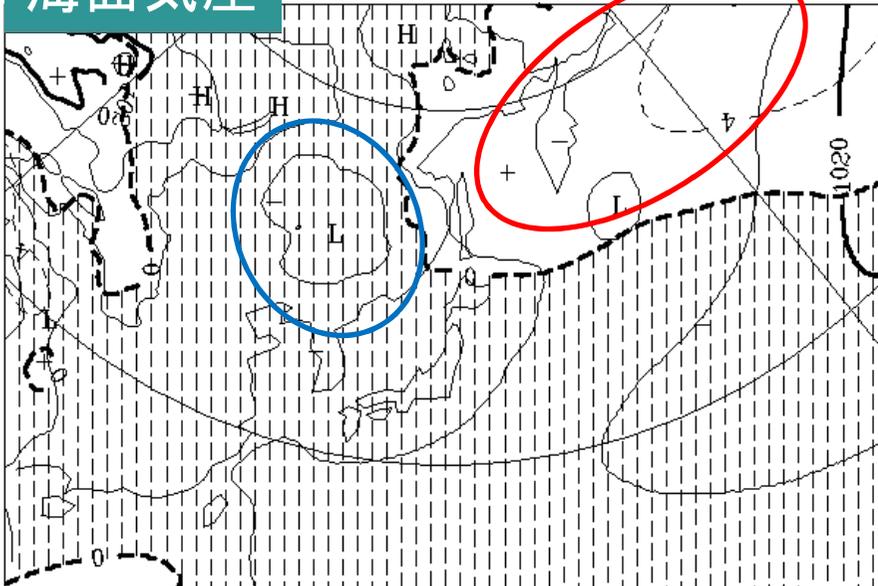
オホーツク海付近で正偏差。  
極渦は、オホーツク海付近の  
正偏差とともにほとんど停滞。  
寒帯前線ジェット気流に沿って  
日本の北でスプレッドが大きく、  
波列の予測に不確実性がある。  
北日本は西谷傾向。

## 850hPa気温



オホーツク海付近を中心に正偏差が強く、日本付近は暖かい空気に覆われやすい。

## 海面気圧



オホーツク海からカムチャツカの東にかけて正偏差の一方、中国東北区付近では低気圧を予測。北日本と東日本日本海側では低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい。  
また、沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすい。

## 想定される天候

北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わりますが、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

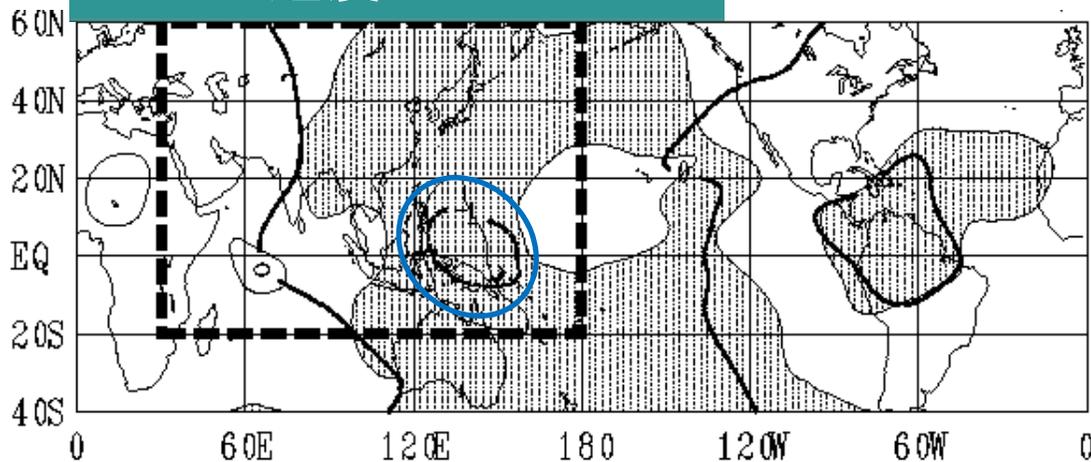
### <気温>

- ・全国的に暖かい空気に覆われやすい。

### <天候>

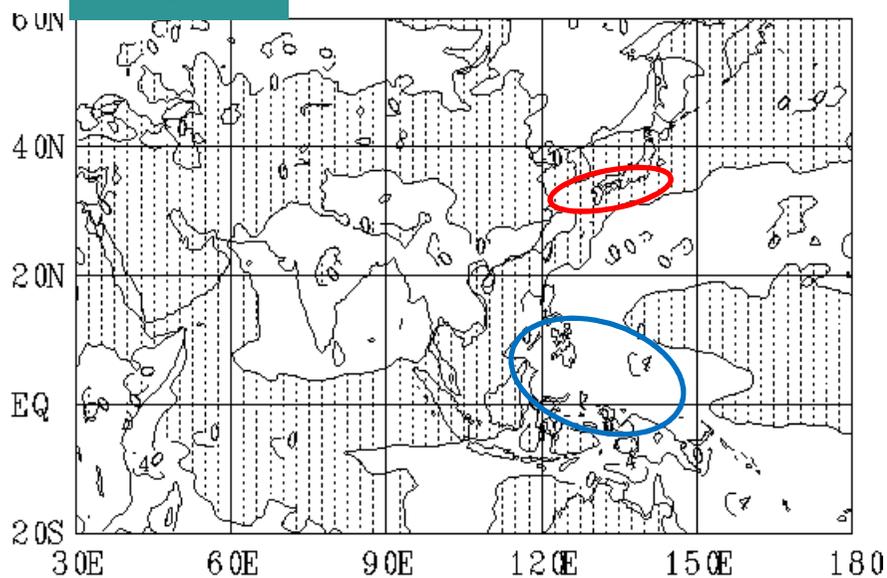
- ・北日本では、低気圧や湿った空気の影響を受けやすいため、寡照でやや多雨。
- ・東日本日本海側では、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、寡照傾向で並雨。
- ・沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、寡照傾向だが、前線の南側にあたり前線からやや離れているため並雨。

## 200hPa速度ポテンシャル



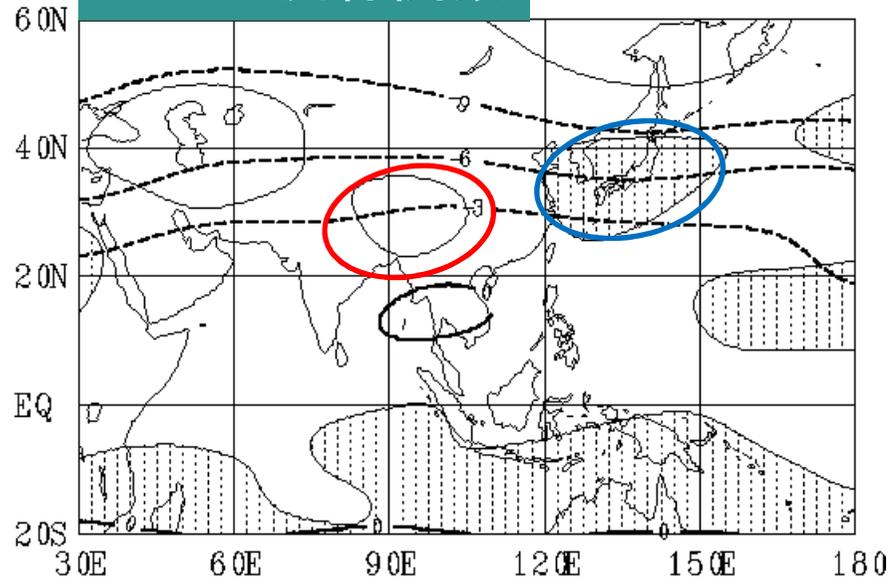
インドネシア付近で上層発散  
偏差だが、シグナルは小さい。

## 降水量



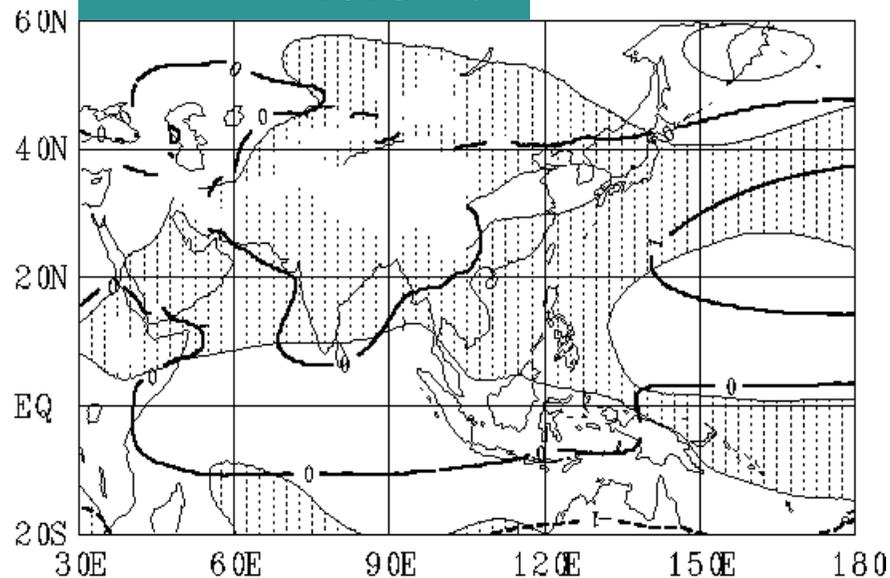
インドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近は、西日本を中心に  
少雨偏差。

## 200hPa流線関数



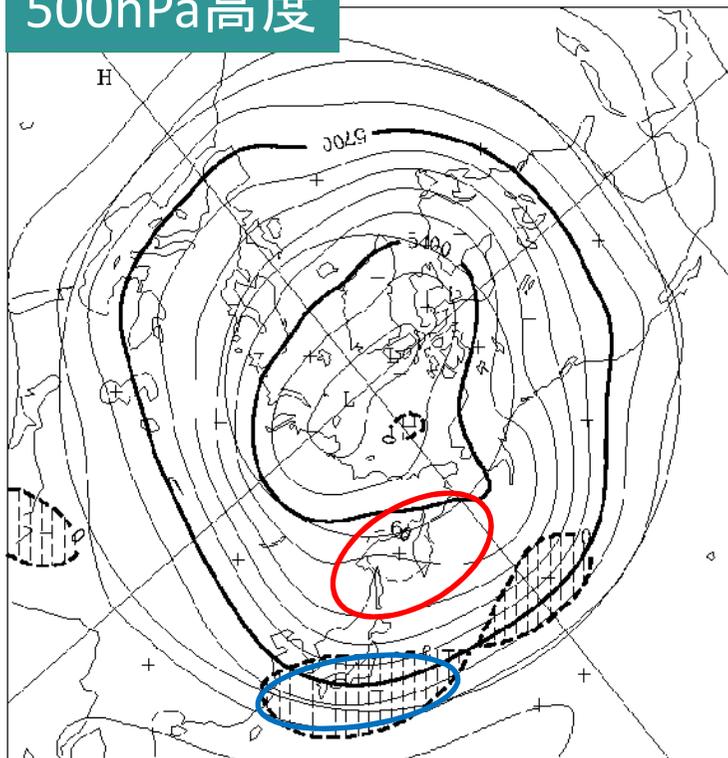
チベット付近では高気圧性循環偏差、東・西日本付近を中心に低気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



日本付近は偏差が小さく、シグナルが弱い。

## 500hPa高度



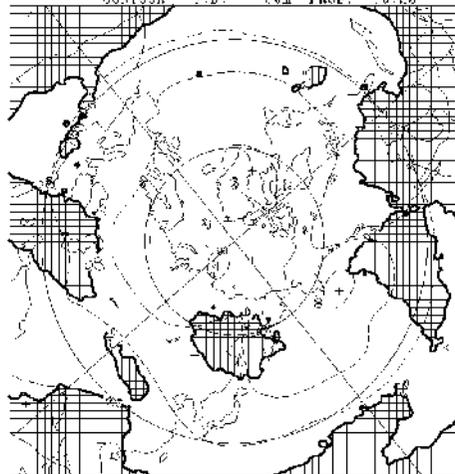
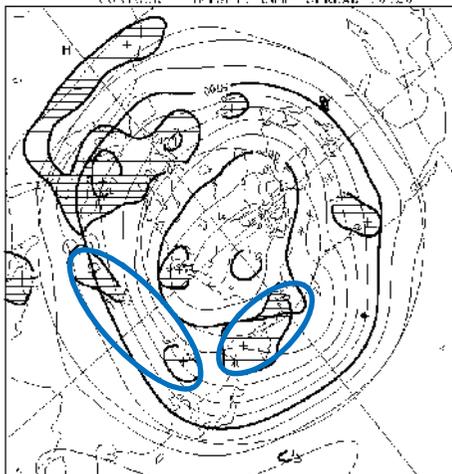
オホーツク海付近からカムチャツカの東にかけて正偏差、東・西本付近を中心に負偏差。寒帯前線ジェット気流に沿って日本の北や日本の上流側ではスプレッドが大きく、波列の予測に不確実性がある。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

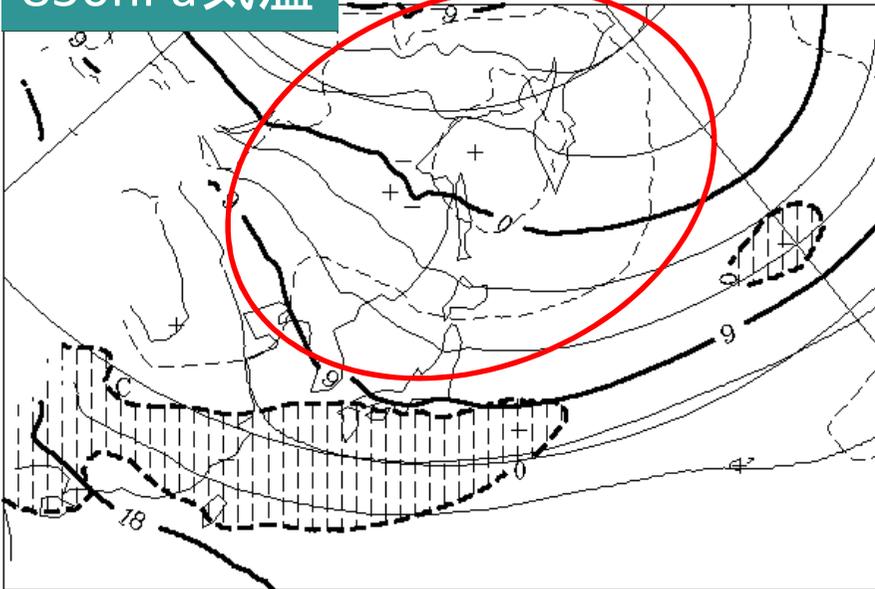
PROB. OF T. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20

CONTOUR S.D.: 20m PROB.: 0.25

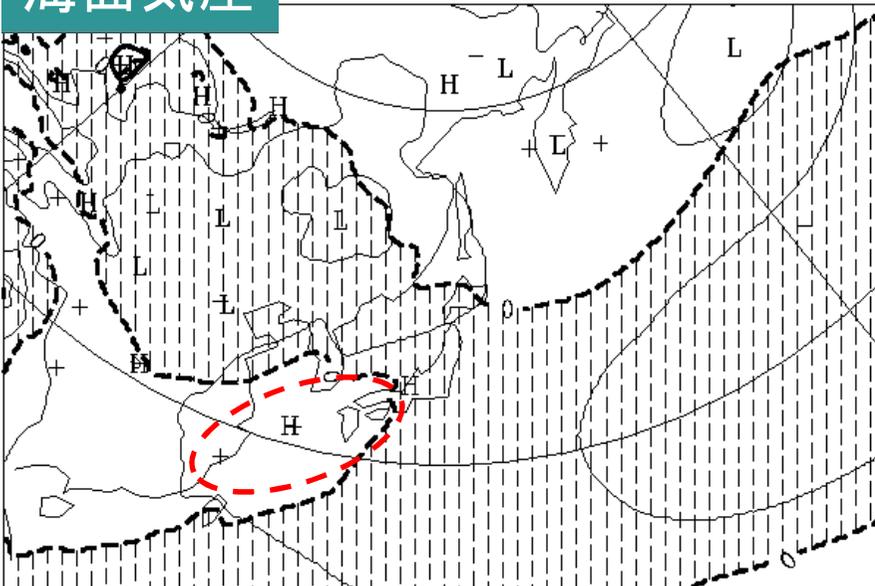


## 850hPa気温



日本の北を中心に正偏差で、北・東日本を中心に暖かい空気に覆われやすい。

## 海面気圧



日本付近は、おおむね偏差が小さいが、東シナ海から西日本付近でやや正偏差で、低気圧や前線、湿った空気の影響をやや受けにくい。  
日本の南は負偏差だが、偏差は小さい。

## 想定される天候

北日本日本海側と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。  
北日本太平洋側と東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

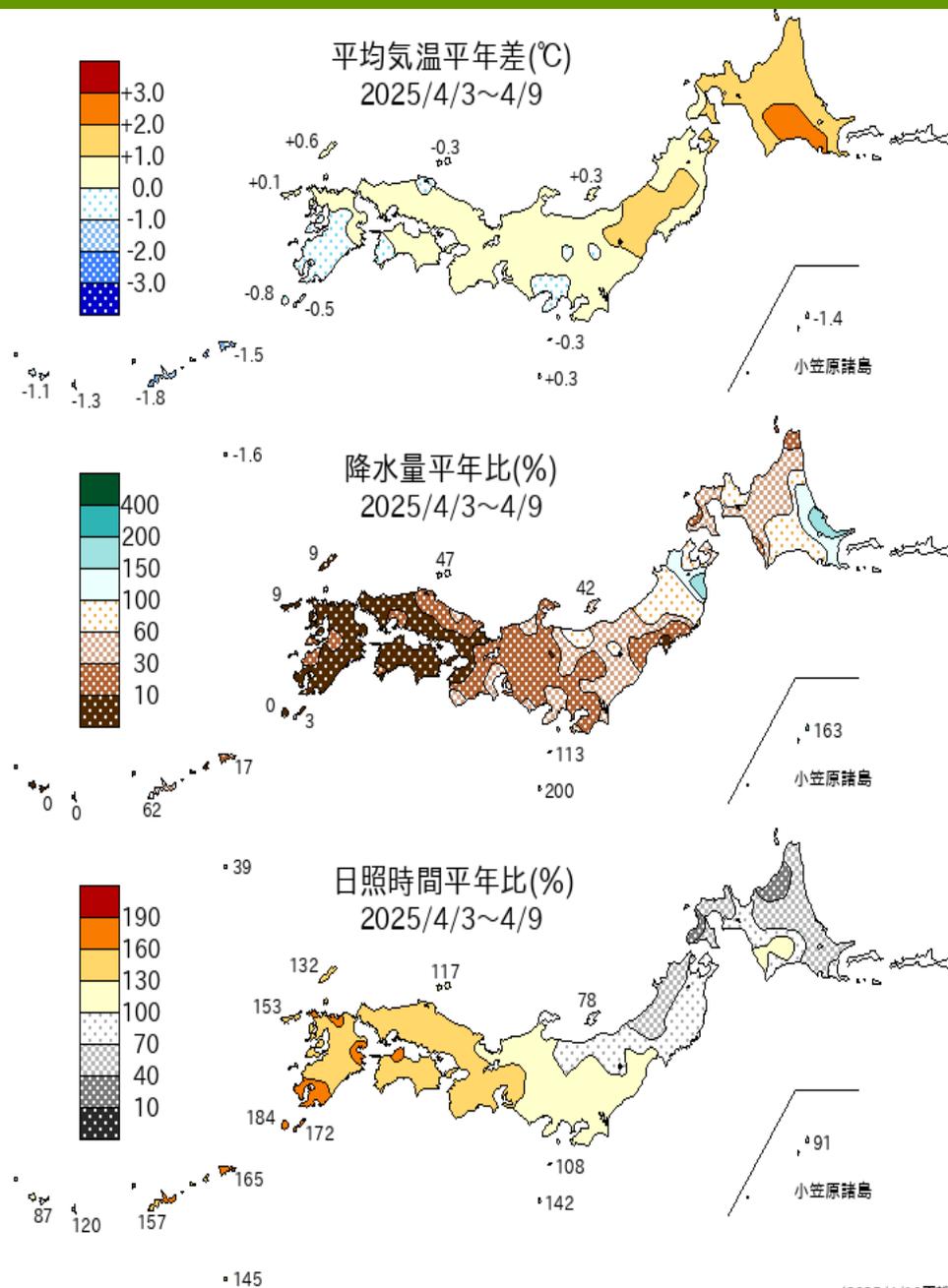
### <気温>

- ・北・東・西日本では、暖かい空気に覆われやすいため、北・東日本では高温。西日本ではやや高温。
- ・沖縄・奄美では、ほぼ平年並。

### <天候>

- ・西日本では、低気圧や前線、湿った空気の影響をやや受けにくいいため、やや少雨・やや多照。東日本太平洋側では、やや少雨。

# 最近1週間の天候経過



最近1週間(4月3日~4月9日)は、低気圧と高気圧が周期的に日本付近を通過しました。低気圧や前線の影響で、北日本と東日本日本海側で曇りや雨の日が多くなりました。一方、高気圧に覆われやすかったため、東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美で晴れの日が多くなりました。

気温は、大陸からの寒気の影響で、沖縄・奄美を中心に平年を下回りましたが、北日本では寒気の影響を受けにくかったため、平年を上回りました。